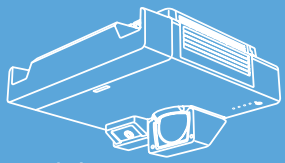
EPSON
EXCEED YOUR VISION

3LCD

# かんたん操作ガイド

## ビジネスプロジェクター

## EB-1485FT
## EB-1480FT



本書では、以下を説明しています。
- 本機を使って投写するまでの基本操作
- インタラクティブ機能の概要
- 映像の投写に関するトラブルの対処方法

**本機には以下のマニュアルが用意されています。本機を安全に正しくお使いいただくために、マニュアルをよくお読みください。**

### PDF

・取扱説明書
・設置工事説明書

ホームページからご確認いただけます。
**epson.jp/lcp/doc/**

お使いのプロジェクターの型番を選んでマニュアルをダウンロードしてください。

### 冊子（紙）

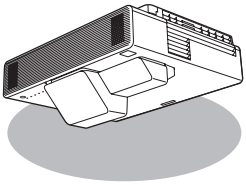
・安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内
・オプション品および同梱品取扱説明書
・かんたん操作ガイド（本書）


同梱品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
投写する・・・・・・・・・ 4
インタラクティブ機能を使う・・・・・・・・・・・・・ 7
困ったときに ・・・・ 13
お問い合わせ先 ・・・・・・・ 28

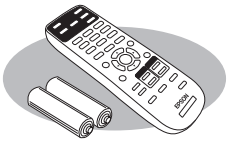

*413823500*

# 同梱品

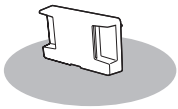
プロジェクター本体



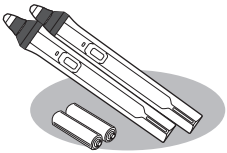
リモコン＋単 3 型乾電池



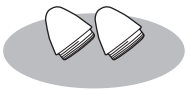
レンズキャップ



インタラクティブペン
＋単 3 型乾電池

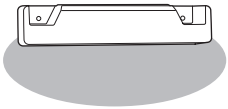


交換用ハードペン先
（2 個）

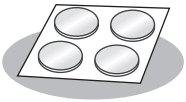


交換用ソフトペン先
（4 個）

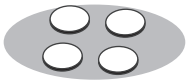
ケーブルカバー



コーナーマーカー
（4 個）

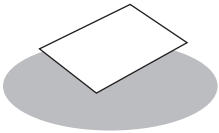


マグネットシート
（4 個）

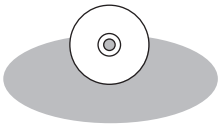


パスワードプロテクト
シール

- お客様情報
  ＋正式保証書発行カード
- 返信用封筒

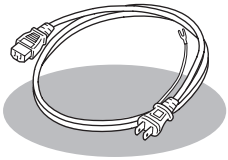


PenPlus for Epson
電子黒板 CD-ROM

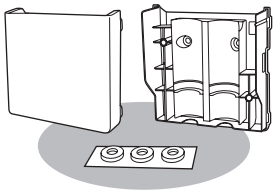


## ■ EB-1485FT のみ

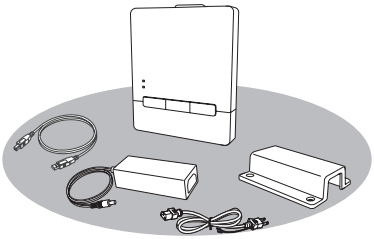
電源コード
（日本国内専用）約 4.5m



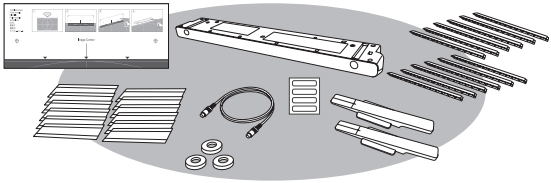
ペンスタンド
（本体・カバー・ネジ穴用スペーサー 3 個）



コントロールパッド関連 ※

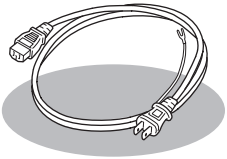


タッチユニット関連 ※

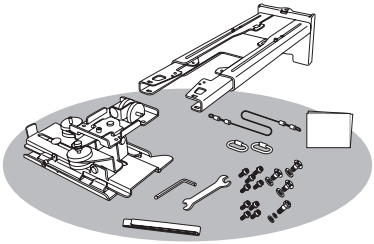


## ■ EB-1480FT のみ

電源コード
（日本国内専用）約 1.8m



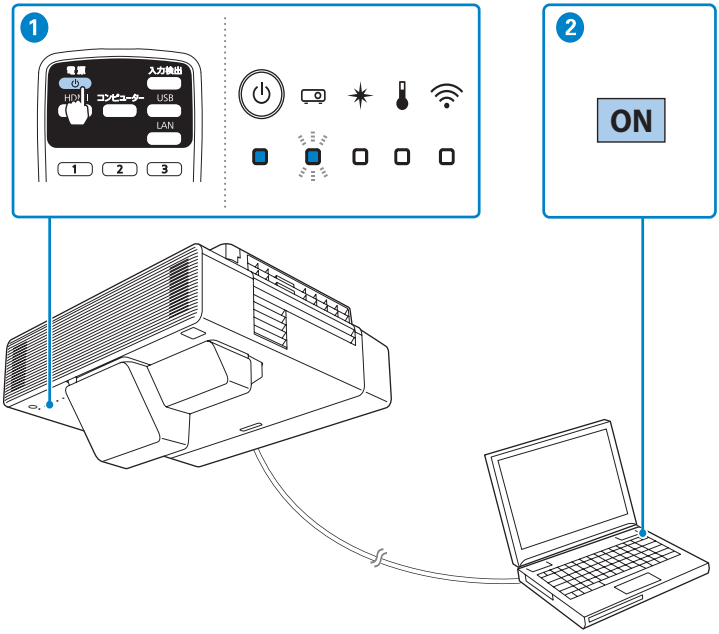
壁掛け金具関連 ※



※各同梱品の詳細については『設置工事説明書』「同梱品一覧」をご覧ください。

# 投写する

## 本機の電源を入れる




**1 リモコンの電源ボタン【⏻】を押して、本機の電源を入れます。**

「ピッ」と確認音が鳴り、ステータスインジケーター（ ）が青色に点滅します（ウォームアップ状態）。ウォームアップが終わると、ステータスインジケーター（ ）が青色に点灯します。

**2 コンピューターの電源を入れます。**

映像が映らない場合は、リモコンの【入力検出】ボタンを押して入力ソースを切り替えてください。

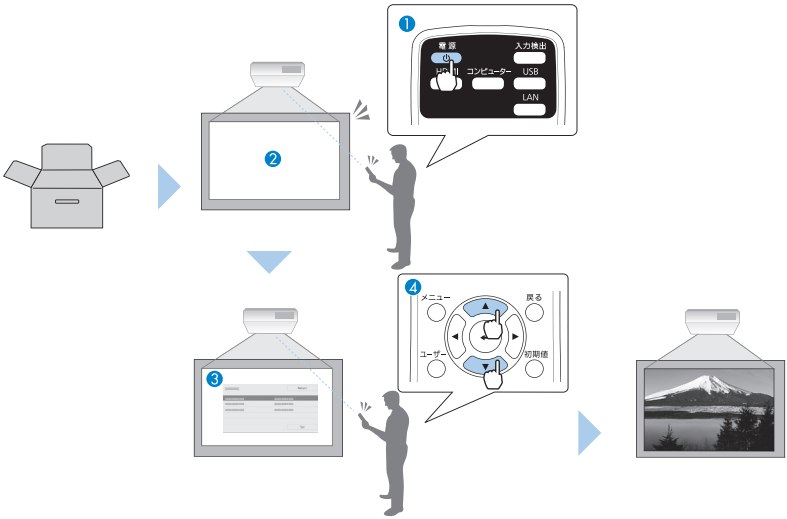
➡ 「映像が写らない」16 ページ

**⚠ 警告**

投写中はレンズをのぞかないでください。

## 初期設定ウィザードを設定する

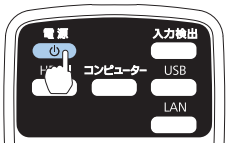
本機をお買い上げいただいて初めて電源を入れるときは、初期設定ウィザード画面が表示されます。
画面の指示に従って各設定を行ったら、ウィザードを終了してください。




## 本機の電源を切る

投写を終了するときは、リモコンの電源ボタン【⏻】を2 回押して本機の電源を切ります。
「ピッピッ」と確認音が2 回鳴った後、ステータスインジケーター（ ）が消灯します。

×2

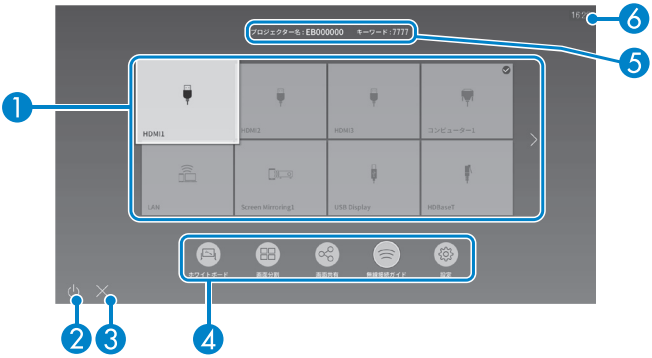



## ホーム画面について

ホーム画面を使うと、入力ソースの切り替えや、よく使う機能を簡単に設定できます。
リモコンの【ホーム】ボタンを押すとホーム画面が表示されます。

**参考**

- 本機の【ホーム】ボタンを押してホーム画面を表示することもできます。
- 本機の電源を入れて入力ソースからの信号がないときも、ホーム画面が表示されます。




## ❶ 入力ソース

- 現在の入力映像のプレビュー画面をサムネイル表示します。
- 入力信号を検出すると、ソースの並び順が変わります（検出したソースが左上に表示されます）。
- 現在投写している入力ソースの右上にチェックマークが付きます。
- 有効な入力ソースが9つ以上あるときは、矢印を押すと次のページに移動します。

## ❷ 電源ボタン：本機の電源を切ります。

## ❸ ×ボタン：ホーム画面を終了します。

## ❹ よく使う機能

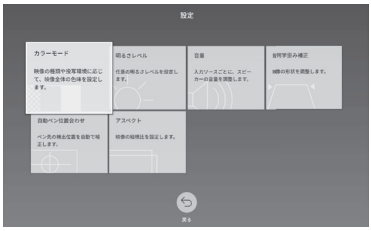
**ホワイトボード**
ホワイトボードモードを開始します。

**画面共有**
プロジェクターから投写している画面を、同じネットワーク上の他のプロジェクターと共有します。

**画面分割**
投写画面を分割して、2つまたは4つの異なる機器の画面を同時に投写します。

**無線接続ガイド**
無線接続ガイドを表示します。

**設定**
以下の機能の設定を変更します。
・カラーモード
・明るさレベル
・音量
・幾何学歪み補正
・自動ペン位置合わせ
・アスペクト



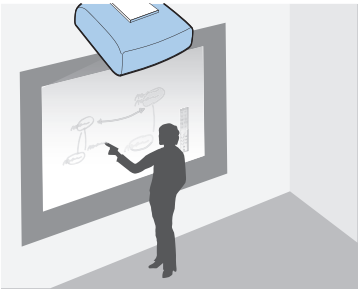

## ❺ プロジェクター名、プロジェクターキーワード

本機のプロジェクター名と、Epson iProjectionでの投写に使用するプロジェクターキーワードを表示します。

## ❻ 現在の時刻：現在の時刻を表示します。

# インタラクティブ機能を使う

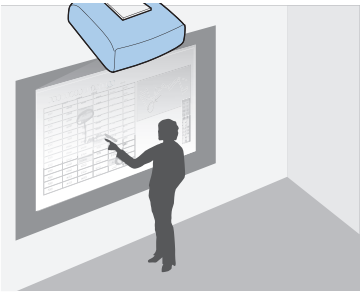
インタラクティブ機能では、3つのモードが使えます。



## ホワイトボードモード

ホワイトボードのような無地の投写画面に描画できます。会議でホワイトボードの代わりに使用すると便利です。

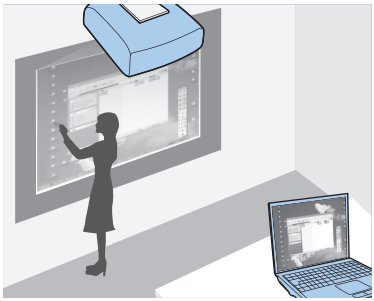
➡「ホワイトボード画面に描画する（ホワイトボードモード）」10 ページ



## アノテーションモード

コンピューターなどから投写した資料に注釈を書き込めます。資料のポイントや補足を書き込んで、効果的なプレゼンテーションができます。

➡「投写した資料に描画する（アノテーションモード）」11 ページ



## マウス操作

投写画面でコンピューターを操作できます。コンピューターのマウスと同じように、クリックやドラッグ＆ドロップなどができます。

➡「投写した画面からコンピューターを操作する（マウス操作）」12 ページ

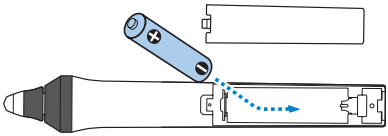
## インタラクティブペンを使って操作する

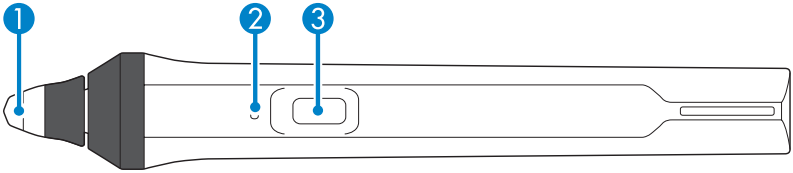
インタラクティブペンは2種類あり、ペン後方部のラベルの色が異なります（オレンジと青）。ラベルの色が異なるペンは、2本同時に使用できます。
ペンを持つと電源が入ります。ペンを使い終わったら、投写画面から離れた場所に置いてください。

お使いになる前に電池（1本）をセットしてください。
交換用の電池は以下のいずれかを使用します。

- 単3形マンガン乾電池
- 単3形アルカリ乾電池
- eneloop®※（BK-3MCC）

※ eneloop® はパナソニックグループの登録商標です。






### 1 ペン先

交換できるソフトペン先です。

投写画面によってソフトペン先が使いづらいときや、アスペクト比が16:6のウルトラワイドディスプレイに投写するときは、ハードペン先に交換してください。

（16:6のスクリーンタイプはEB-1485FTでのみ選択できます。）

### 2 バッテリーインジケーター

ペン側面にあるボタンを押したときに、電池残量をお知らせします。

- 青色に点灯：電池残量は十分です。
- 青色に点滅：電池残量が少なくなってきています。
- 点灯しない：電池残量がありません。電池を交換してください。

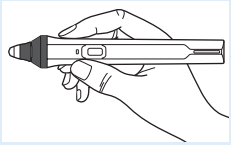
### 3 ボタン

［インタラクティブ］メニューの［ペンボタン動作］で設定した機能を実行します。

マウス操作時に押すと、マウス操作の右クリックができます。

参考

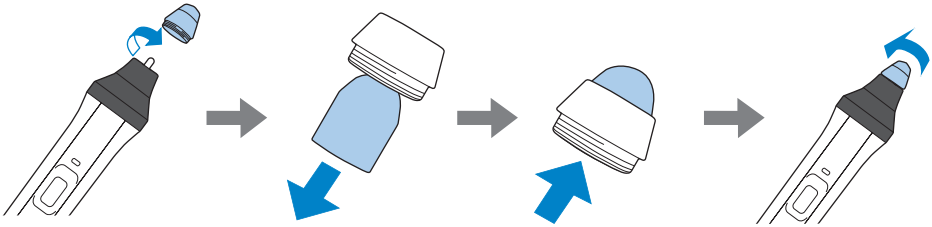
- ペンを置くと15秒後に自動的に電源が切れます。ペンを持つと再び電源が入ります。
- ペン先の黒い部分を持ったり、傷や汚れを付けたりしないでください。ペンが動作しないことがあります。次のようにペンを持ちます。



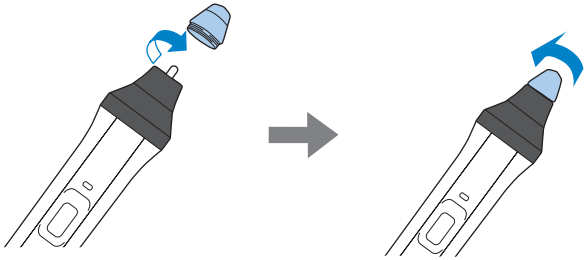
- 同梱のペンスタンドにペンを置くときは、ペンの誤動作を防ぐため、ペン先を下に向けて置いてください（EB-1485FTのみ）。

お買い上げ時は、両方のペンにソフトペン先が取り付けられています。

- ソフトペン先が汚れたり傷ついたりすると、インタラクティブペンの反応が悪くなります。新しいソフトペン先と交換してください。



- 投写画面によってソフトペン先が使いづらいときは、ハードペン先と交換してください。



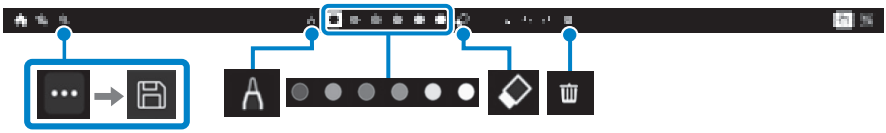
## 指を使って操作する

インタラクティブペンと同じように、指を使って投写画面への描画やマウス操作ができます。指を使って操作する前に、タッチユニットを設置する必要があります。
詳しくは『設置工事説明書』をご覧ください。

## ホワイトボード画面に描画する（ホワイトボードモード）

ホワイトボードモードでは、ホワイトボードのような無地の背景が投写され、その上にインタラクティブペンまたは指を使って文字や図形を自由に描写できます。

1. **本機の電源を入れて、映像を投写します。**
2. **リモコンの【ホーム】ボタンを押します。**
3. **［ホワイトボード］を選択します。**
   ホワイトボード画面とツールバーが表示されます。
4. **インタラクティブペンや指を使って投写画面に書き込みができます。**



| | | | |
|---|---|---|---|
| | 描画に使用するペンの種類や線幅、図形を選択します。 | | 表示中の画面を保存します（事前に［インタラクティブ］メニューの［保存］で設定が必要です）。 |
| | 描画の色を選択します。 | | 表示中のページの描画をすべて削除します。 |
| | 消しゴムのように描画を消去します。消しゴムの大きさを選択します。 | | |

上記はツールバーを使って行うことができる操作の一例です。すべての機能について、詳しくは『取扱説明書』「ホワイトボードモードのツールバー」をご覧ください。

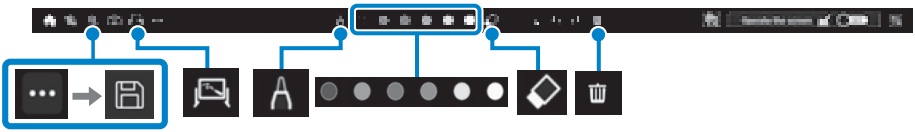
## 投写した資料に描画する（アノテーションモード）

アノテーションモードでは、投写した資料にインタラクティブペンまたは指を使って文字や図形を自由に描画できます。
事前に［インタラクティブ］メニューの［描画機能を利用する］を［オン］に設定してください。

**1 接続機器から映像を投写します。**

ツールバーが表示されます。

**2 インタラクティブペンや指を使って投写画面に書き込みができます。**



| | | | |
|---|---|---|---|
| | 描画に使用するペンの種類や線幅、図形を選択します。 | | 表示中の画面を保存します（事前に［インタラクティブ］メニューの［保存］で設定が必要です）。 |
| | 描画の色を選択します。 | | 表示中のページの描画をすべて削除します。 |
| | 消しゴムのように描画を消去します。消しゴムの大きさを選択します。 | | ホワイトボードモードに切り替えます（画面を2画面または4画面に分割しているとき、または［表示倍率］の機能を有効にしているときは使用できません）。 |

上記はツールバーを使って行うことができる操作の一例です。すべての機能について、詳しくは『取扱説明書』「アノテーションモードのツールバー」をご覧ください。

## 投写した画面からコンピューターを操作する（マウス操作）

マウス操作機能を使って、投写画面上からコンピューターを操作できます。

**参考** Mac をお使いの場合は、Easy Interactive Driver をインストールする必要があります。詳しくは『取扱説明書』「Easy Interactive Driver をインストールする（Mac のみ）」をご覧ください。

**1 USBケーブルを使用してプロジェクターとコンピューターを接続します。**

**参考**
- コントロールパッドを使用しているときは、コンピューターとコントロールパッドをUSBケーブルで接続します（EB-1485FTのみ）。
- ネットワーク経由でマウス操作機能を使用するときは、USBケーブルは不要です。

**2 本機の電源を入れます。**

**3 プロジェクターからコンピューターの画面を投写します。**

**4 お使いの環境に合わせて、次のいずれかを選択します。**

- USB Displayで投写してインタラクティブ機能を使用したいときは、[信号入出力] メニューの［USB Display］をオンにします。
- 接続しているコンピューターのOSに合わせて、［ペン/指タッチ］メニューの［PC操作］で［ペン座標検出モード］を設定します。

  Windows/Mac：［ペンモード］を選択します。
  Ubuntu：［マウスモード］を選択します。

**参考** 2 本のインタラクティブペンを同時に使用すると、ご使用のアプリケーションソフトによっては干渉を引き起こすことがあります。インタラクティブペンを投写画面から遠ざけてください。

**5 ツールバーで［PC操作］をオンにして機能を有効にします。**

ペンを使って次のマウス操作ができます。

- クリック：投写面にペン先を押し当ててすぐに離します。
- ダブルクリック：投写面にペン先を2回押し当てます。
- 右クリック：ペン側面のボタンを押します。
- ドラッグ&ドロップ：移動したいアイコン等の上にペン先を押し当て、投写面に接した状態のまま移動して、移動先でペン先を離します。

# 困ったときに

本機を使用中に起こりうるトラブルと、その対処法について説明しています。
本書に記載のないトラブルが起きたときは、『取扱説明書』「困ったときに」をご覧ください。
トラブルが解決しないときは、裏表紙に記載の連絡先へご相談ください。

## 映像が写らない

以下のときにご覧ください。

- 接続している機器の映像が写らない
- 投写画面に「映像信号が入力されていません」などのメッセージが表示される

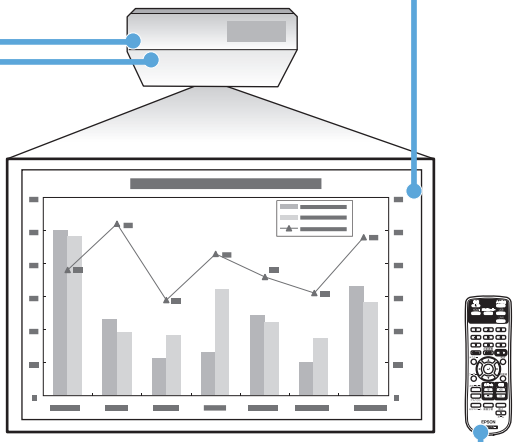
➡「映像が写らない」16 ページ

## 写っている映像がおかしい

以下のときにご覧ください。

- 映像が上下反転している
- 映像がぼやける
- 映像の一部が表示されない
- 映像にノイズが入る、乱れる
- 映像がゆがむ
- 映像が小さい/大きい
- 映像の位置がおかしい

➡「写っている映像がおかしい」20 ページ



## インジケーターの見方

本機の状態（正常/異常/警告）を確認できます。

➡「インジケーターの見方」27 ページ

## 電源が入らない、予期せず切れる

本機の電源が入らないときや、使用中に電源が切れてしまうときにご覧ください。

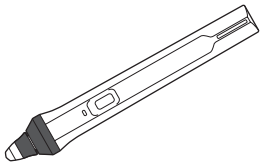
➡「電源が入らない、予期せず切れる」15 ページ

## リモコンで操作できない

本機がリモコンでの操作に反応しないときや、リモコンを紛失したときにご覧ください。

➡「リモコンで操作できない」18 ページ

## インタラクティブペンがうまく使えない

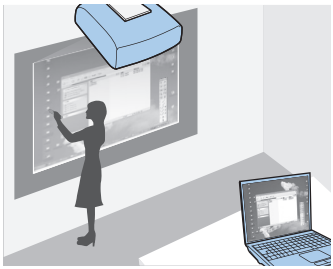


以下のときにご覧ください。

- インタラクティブペンが動作しない
- インタラクティブペンで描画する位置がずれる

➡「インタラクティブペンがうまく使えない」24 ページ

## 投写画面からコンピューターを操作できない

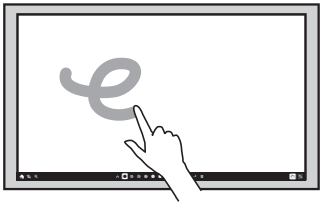


以下のときにご覧ください。

- マウス操作がうまく反応しない
- 意図した操作ができない

➡「投写画面からコンピューターをうまく操作できない」25 ページ

## 指タッチ操作がうまくできない



以下のときにご覧ください。

- 指タッチ操作がうまく反応しない
- 指で描画またはマウス操作する位置がずれる

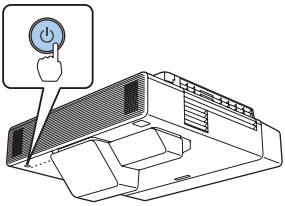
➡「指タッチ操作がうまくできない」26 ページ

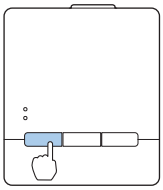
# 電源が入らない、予期せず切れる

**Q.** リモコンで操作を行っていますか？

はい

本機またはコントロールパッド（EB-1485FT のみ）の電源ボタン【⏻】を押して、電源が入るか確認します。





本機の電源ボタンを使って電源が入る場合は、以下のページでリモコンの動作をご確認ください。

➡「リモコンで操作できない」18 ページ

問題が解決しない場合

いいえ

**Q.** 電源が入らなくなる直前まで、本機を長時間使用していましたか？

はい

本機の内部温度が高温になっている可能性があります。

インジケーターの状態をご確認ください。

➡「インジケーターの見方」27 ページ

いいえ

電源コードが本機とコンセントに確実に接続されていることを確認して、再度電源を入れてください。

電源コードが正しく接続されていても電源が入らないときは、電源コードが故障している可能性があります。

電源コードを抜いて、お買い上げの販売店または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご相談ください。

# 映像が写らない

**Q.** 以下の画面やメッセージが表示されていますか？
- ホーム画面
- 青い画面
- 「映像信号が入力されていません」などのメッセージ

はい

いいえ

## プロジェクターの状態を確認する

- 本機のインジケーターが以下の状態になっていることを確認します。

インジケーターの状態が上記と異なるときは、以下の手順に従って電源を入れ直してください。

➡「投写する」4 ページ

プロジェクターの電源が入らないときは、以下をご覧ください。

➡「電源が入らない、予期せず切れる」15 ページ

- リモコンの【A/V ミュート】ボタンを押して、映像が一時的に消されていないか確認します。

問題が解決しない場合

## プロジェクターの設定を確認する

リモコンの【入力検出】ボタンを押し、映像が表示されるまで数秒待ちます。

問題が解決しない場合

## 接続ケーブルの状態を確認する

- 必要なケーブル（電源コード、接続機器用のケーブル）がすべて接続されていることを確認します。
- すべてのケーブルのコネクターが、端子の奥までしっかり差さっていることを確認します。
- スイッチャーや AV アンプ、USB ハブなどを介して接続しているときは、本機と接続機器を直接接続してください。
- HDMI ケーブルで接続しているときは、より短い HDMI ケーブルで接続し直してください。

問題が解決しない場合

## 接続機器の状態を確認する

機器の電源が入っていることを確認します。
必要な場合はプレゼンテーションや動画の再生を開始します。

### ノート型コンピューターを接続しているとき

- コンピューターの出力設定を切り替えます。
  コンピューターの Fn キー（ファンクションキー）を押したまま、🖵/▭ キー（外部モニターを表すアイコン）を押します。
- 入力映像が黒一色でないことを確認します。
- コンピューターがスリープモードでないことを確認します。
- USB ケーブルで接続しているときは、ドライバーが正しくインストールされていることを確認します。
- USB ケーブルで接続しているときは、入力ソースを USB に切り替えて、USB ケーブルを一度抜いて再度接続します。

問題が解決しない場合

## すべて確認しても写らないときは

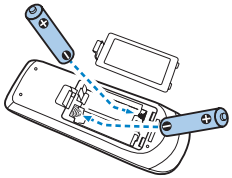
- 本機の電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
  ➡「本機の電源を切る」5 ページ
  ➡「本機の電源を入れる」4 ページ
- 接続している機器の電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
- コンピューターを接続しているときは、コンピューターのディスプレイ解像度が本機の対応解像度、周波数と合っているか確認します。
  詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

# リモコンで操作できない

**Q.** リモコンはお手元にありますか？

**はい**

- リモコンの電池が正しくセットされていること、電池が切れていないことを確認します。必要に応じて、電池を交換してください。



- リモコンのボタンが押しこまれた状態になっているときは、ボタンを元の状態に戻してください。

**いいえ**

**リモコンを紛失した場合は、新たにリモコンをお買い求めいただけます。**
本機をお買い上げの販売店または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご相談ください。

**問題が解決しない場合**

**Q.** 本機からは映像が投写されていますか？

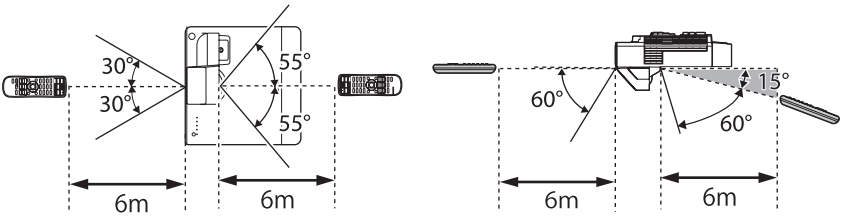
**いいえ**

**本機がウォームアップ中またはシャットダウン中のときは、リモコンで操作ができません。**
本機の状態をご確認ください。

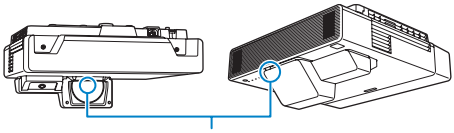
➡「インジケーターの見方」27 ページ

**はい**

受光可能範囲内でリモコンを使っていることを確認します。

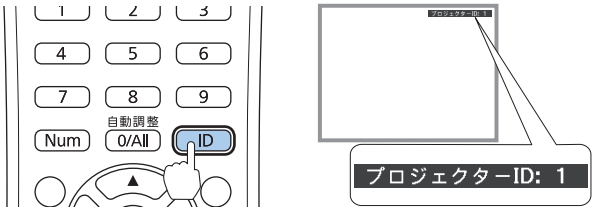


**リモコン受光部に強い光（蛍光灯の光、直射日光、赤外線機器の信号など）が当たっていないことを確認します。**
リモコン受光部の周辺に強い光源があるときは、本機の設置位置を変更してください。

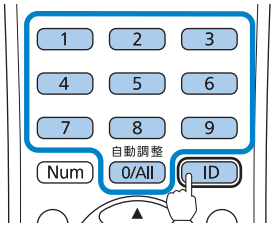



問題が解決しない場合

**同じ部屋で複数台のプロジェクターを使っているときは、本機にプロジェクター ID が設定されている可能性があります。**
操作対象のプロジェクターにリモコンを向け、【ID】ボタンを押して、投写画面に表示されるプロジェクター ID を確認します。

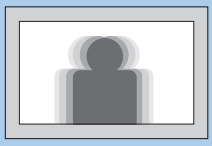



リモコンの【ID】ボタンを押しながら、投写画面に表示された ID と同じ番号のボタンを押します。【ID】ボタンを押しながら【0/All】ボタンを押すと、プロジェクター ID の設定に関わらず、すべてのプロジェクターを操作できるようになります。



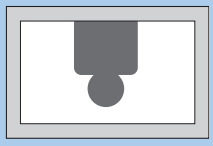
# 写っている映像がおかしい

映像がぼやける

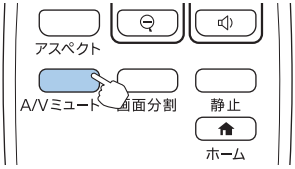


- リモコンの【メニュー】ボタンを押して［設置］を選択し、［テストパターン］を選択します。テストパターンを表示して、フォーカスレバーでピントを調整します。詳しくは『取扱説明書』「ピントを調整する」をご覧ください。
- 本機を投写距離の推奨範囲内に設置します。
- 映像の高さ調整のために本機の傾斜角度を大きくすると映像がゆがみます。傾斜角度を小さくして台形補正の調整値を小さくします。

映像が上下反転している



- リモコンの【A/V ミュート】ボタンを5秒間押して、映像を反転します。このとき、画面が一時的に暗くなります。



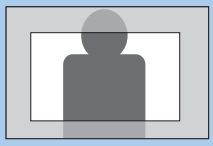

問題が解決しない場合

- ［映像調整］メニューの［シャープネス］を押して、投写映像のシャープ感を調整します。
- コンピューターケーブルを使ってコンピューターから映像を投写しているときは、リモコンの【自動調整】ボタンを押して、トラッキングと同期の設定を最適化します。

映像に縦の縞模様が出たり、全体的にぼやけるときは、均一なパターン画面を表示し、［トラッキング］と［同期］を設定します。

- 本機のレンズを掃除します。詳しくは『取扱説明書』「レンズを清掃する」をご覧ください。
- コンピューターの映像を投写しているときは、本機の対応解像度に合わせて解像度を変更します。

映像の一部が表示されない



映像にノイズが入る、乱れる

- コンピューターケーブルを使ってコンピューターから映像を投写しているときは、リモコンの【自動調整】ボタンを押して、トラッキングと同期の設定を最適化します。

問題が解決しない場合

- リモコンの【アスペクト】ボタンを押して、アスペクト比を変更します。
- リモコンの【E ズーム】ボタンで映像のサイズを調整しているときは、【戻る】ボタンを押して調整を解除します。
- コンピューターの映像を投写しているときは、以下をご確認ください。
  - コンピューターのデュアルディスプレイの設定が無効になっているか
  - ディスプレイの解像度が本機の対応解像度に合っているか

問題が解決しない場合

- 本機と機器を接続しているケーブルの状態を確認します。
  - 干渉を受けないように、電源コードから離れているか
  - ケーブルの両端が確実に接続されているか
  - 延長ケーブルを使用していないか
- コンピューターの映像を投写しているときは、以下をご確認ください。
  - ディスプレイの解像度が本機の対応解像度に合っているか
  - リフレッシュレートが本機のリフレッシュレートと合っているか

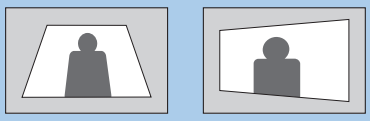
# 写っている映像がおかしい

**⚠ 注意**

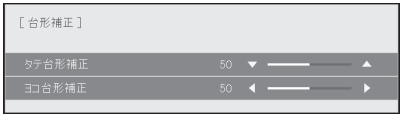
本機を固定設置しているときに次の現象が発生した場合は、本機を設置した専門業者による対応をお勧めします。
映像調整を行うことで、本機設置時の設定をリセットしてしまう可能性があります。

- 映像がゆがむ
- 映像が小さい / 大きい
- 映像の位置がおかしい

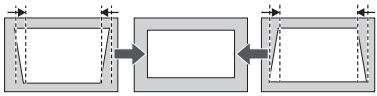
映像がゆがむ



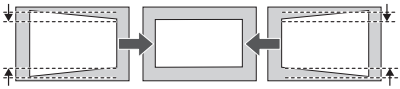
- スクリーンと平行になるように、本機の設置位置を調整します。
- タテヨコ台形補正機能を使って映像を調整します。
  操作パネルの【台形補正 / 上下】ボタンのどちらかを押します。
  上下左右ボタンで補正します。




タテ台形補正



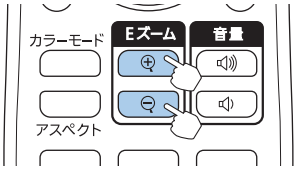
ヨコ台形補正



- Quick Corner 機能を使って、コーナーの形状を調整します。詳しくは『取扱説明書』「Quick Corner 機能で映像のゆがみを補正する」をご覧ください。
- 湾曲補正機能を使って映像のゆがみを補正します。詳しくは『取扱説明書』「湾曲補正で映像のゆがみを補正する」をご覧ください。
- ポイント補正機能を使って、部分的に発生するゆがみを補正します。詳しくは『取扱説明書』「ポイント補正で映像のゆがみを補正する」をご覧ください。

### 映像が小さい / 大きい

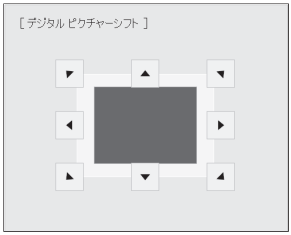
- ワイド・テレボタンを使って投写映像のサイズを調整します。映像のサイズを大きくするには、操作パネルのワイドボタンを押します。映像を小さくするには、テレボタンを押します。
- リモコンの【E ズーム】ボタンを押して、映像のサイズを調整します。




- 映像のサイズは本機とスクリーンの距離によっても変わります。
  スクリーンに近づけると小さく、スクリーンから遠ざけると大きくなります。
  詳しくは『取扱説明書』「スクリーンサイズと投写距離」をご覧ください。

### 映像の位置がおかしい

- デジタルピクチャーシフト機能を使って映像の投写位置を微調整します。操作パネルの【ワイド・テレ / 左右】ボタンで映像のサイズを調整すると、デジタルピクチャーシフト画面が表示されます。上下左右ボタンを押して、投写位置を調整します。



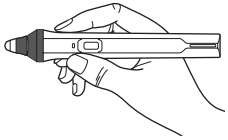

- スクリーン位置調整機能を使って映像の投写位置を調整します。操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押して［スクリーンタイプ］、［スクリーン位置］の順に選択して、上下左右ボタンで映像の位置を調整します。

## インタラクティブペンがうまく使えない

**Q.** ペン側面のボタンを押したときに、インジケーターが点灯しますか？

**点灯する**

- ペンの持ち方を確認します。
  ペンの黒い部分を持っていると、インタラクティブペンが正しく動作しないことがあります。



- ペン先がすり減ったり汚れたりしているときは、新しいペン先に交換してください。
  ➡「インタラクティブペンを使って操作する」8 ページ

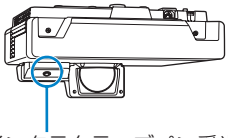
**点滅する / 消灯したまま**

インタラクティブペンの電池残量が少ないまたは無くなっています。
ペンの電池を交換してください。

**問題が解決しない場合**

インタラクティブペン受光部や投写面の状態を確認します。

- ペンと受光部との間に、ケーブルなどの障害物がないこと
- 受光部にホコリや汚れがついていないこと
- 受光部や投写面に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たっていないこと




**問題が解決しない場合**

- 赤外線リモコン、赤外線マイクなど、赤外線を使う機器からの干渉がないか確認します。
- 同じ部屋で本機を 2 台以上使用しているときは、プロジェクター同士が干渉して、動作が不安定になることがあります。オプションのワイヤードリモコンケーブルでプロジェクター同士を接続してください。ワイヤードリモコンケーブルをお持ちでない場合は、［ペン / 指タッチ］メニューの［複数台設置］で［赤外線強度］を［強い］に設定してください。詳しくは、『取扱説明書』「複数台のプロジェクターを接続する」をご覧ください。

**問題が解決しない場合**

ペン位置を正しく認識させるため、ペン位置合わせを行ってください。詳しくは、『設置工事説明書』をご覧ください。

## 投写画面からコンピューターをうまく操作できない

**Q.** 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続していますか？

**はい**

USB ケーブルが正しく接続されているか確認します。入力ソースを USB に切り替えて、USB ケーブルを一度抜いて再度接続してください。

**問題が解決しない場合**

アノテーションモードのツールバーで、［PC 操作］が［オン］になっているか確認します。

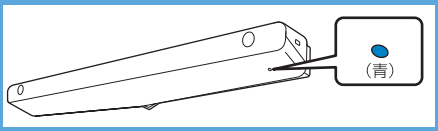
➡「投写した資料に描画する（アノテーションモード）」11 ページ

**いいえ**

投写画面からマウス操作を行うときは、本機とコンピューターを USB ケーブルで接続してください。

# 指タッチ操作がうまくできない

**Q.** 本機の電源が入っているときに、タッチユニットのインジケーターが点灯していますか？




はい

いいえ

タッチユニットのインジケーターが点灯していないときは、［ペン / 指タッチ］メニューの［タッチユニット］で、［電源］が［オン］になっているか確認してください。

直射日光や蛍光灯の強い光、赤外線リモコンや赤外線マイクなど赤外線を使う機器からの干渉がないか確認します。

問題が解決しない場合

- 投写画面の前や周囲（約 10cm 以内）に人が立っていたり障害物があったりすると、指タッチ操作がうまくできないことがあります。
- 衣服の袖や身体の一部が投写画面に近づいたり接触したりすると、指タッチ操作がうまくできないことがあります。投写画面から 1cm 以上離れてください。

問題が解決しない場合

- 指で描画している位置と実際に描画される位置がずれるときは、［ペン / 指タッチ］メニューの［タッチユニット］で［指タッチ位置合わせ］を行ってください。
- 位置合わせを行っても指タッチ操作がうまくできないときは、［ペン / 指タッチ］メニューの［タッチユニット］で［タッチ補正範囲］の設定を確認します。

問題が解決しない場合

タッチユニットのレーザー照射口と投写画面の間に、ケーブル類やペントレイなどの障害物がないか確認します。投写画面の周囲に移動できない障害物があるときは、スクリーンに赤外線ディフレクターを取り付けます。詳しくは、『設置工事説明書』をご覧ください。

# インジケーターの見方

インジケーターは、本機の状態をお知らせします。以下の表でインジケーターの色と状態を確認し、必要な対処を行ってください。

無線 LAN インジケーター（ ）の見方については、『取扱説明書』「インジケーターの見方」をご覧ください。

：青色　：橙色

：点灯　：点滅

：消灯　：状態依存 ※

※エラーが起きたときのプロジェクター本体の状態によって、点灯、点滅、もしくは消灯しています。

## ■ 正常動作時のインジケーターの状態

| スタンバイ中 | ウォームアップ中 / シャットダウン中 / クールダウン中 |
|---|---|
| 電源ボタン【⏻】を押すと投写を開始します。 | 電源ボタン【⏻】を押しても反応しません（約 30 秒）。 |

| 投写中 | リフレッシュモード |
|---|---|
| 通常動作中です。 | リフレッシュモードが進行中です。 |

## ■ 異常 / 警告時のインジケーターの状態

| 内部異常 | ファン異常 / センサー異常 | 内部高温異常 | 高温警告 |
|---|---|---|---|
| 電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または裏表紙に記載の連絡先へご相談ください。 | | • 壁側に設置しているときは場所を移動します。<br>• エアフィルターの清掃または交換をします。 | |

| レーザー異常 | レーザー警告 |
|---|---|
| ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 | |

上記の対処を行ってもエラーになるときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または裏表紙に記載の連絡先へご相談ください。

# お問い合わせ先

## ● プロジェクターインフォメーションセンター

製品の操作方法・お取扱等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。

**050-3155-7010**

※上記電話番号をご利用できない場合は、042-503-1969 へお問い合わせください。

## ● エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

**050-3155-8600**

※上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949 へお問い合わせください。

## ● エプソンのホームページ

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

**https://www.epson.jp**

FAQ　皆様からお問い合わせの多い内容を FAQ としてホームページに掲載しております。
https://www.epson.jp/faq/

## ● 修理品送付・持ち込み依頼先

本機が故障したときは、お買い上げの販売店へお持ち込みいただくか、下記の修理センターまでご送付ください。

| 拠点名 | 所在地 | 電話番号 |
|---|---|---|
| 札幌修理センター | 〒 003-0021　札幌市白石区栄通 4-2-7<br>エプソンサービス ( 株 ) | 011-805-2886 |
| 松本修理センター | 〒 390-0863　松本市白板 2-4-14<br>エプソンサービス ( 株 ) | 050-3155-7110 |
| 鳥取修理センター | 〒 689-1121　鳥取市南栄町 26-1<br>エプソンリペア ( 株 ) | 050-3155-7140 |
| 沖縄修理センター | 〒 900-0027　那覇市山下町 5-21<br>グリーンビル山下町 2F　エプソンサービス ( 株 ) | 098-852-1420 |

※ 修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。
※ 上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
- 松本修理センター：0263-86-7660
- 鳥取修理センター：0857-77-2202

Copyright©2019 Seiko Epson Corporation. All rights reserved.
Printed in China XX.XX.-XX(XXX)